

環境・脱炭素への取り組みに関する調査結果

当研究所では、2022年度に「アフターコロナ・ウィズコロナに向けた企業動向」に関するアンケート調査を行いました。その調査のなかで、「環境・脱炭素」をテーマに、環境への取り組みを行う目的や脱炭素化につながる設備導入や利用状況などについてお聞きしました。

本号では主な調査結果をお届けします。※詳細は当所(姫路経済研究所)ホームページをご覧ください。



調査概要

- (1) 調査期間
2022年12月26日～2023年2月3日
- (2) 調査対象先
姫路商工会議所・姫路市商工会の会員事業所
- (3) 回答率

調査事業所数	回答事業所数	回答率
5,960	1,165	19.5%

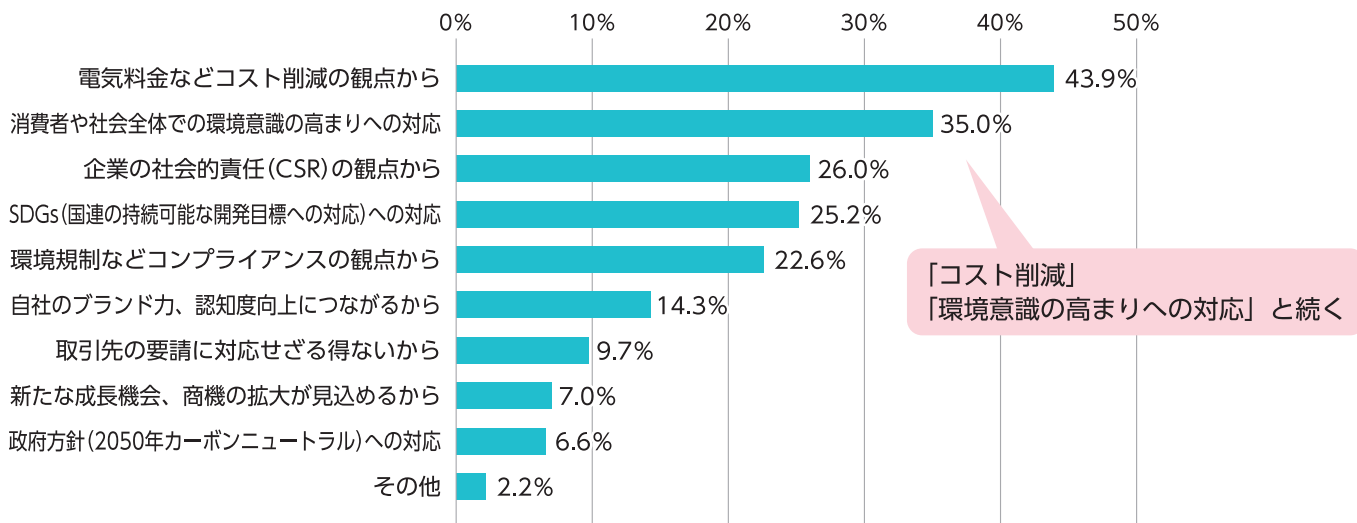
(4) 規模別構成比

規模	事業所数	構成比
小規模	714	61.3%
中規模	403	34.6%
大規模	48	4.1%

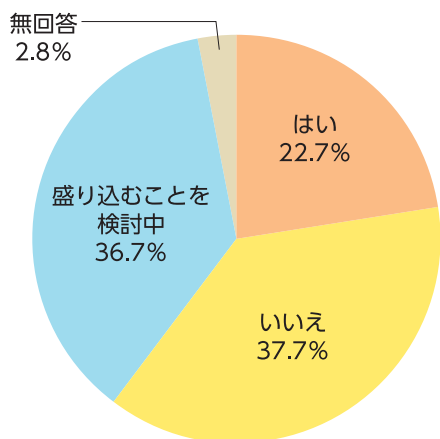
(5) 業種別構成比

業種	事業所数	構成比
建設業	226	19.4%
製造業	209	17.9%
卸売業	117	10.0%
小売業	158	13.6%
サービス業	233	20.0%
その他	222	19.1%
合計	1,165	100.0%

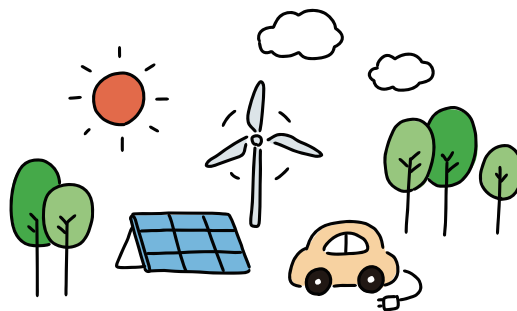
1. 環境への取り組みを行う目的(複数回答)



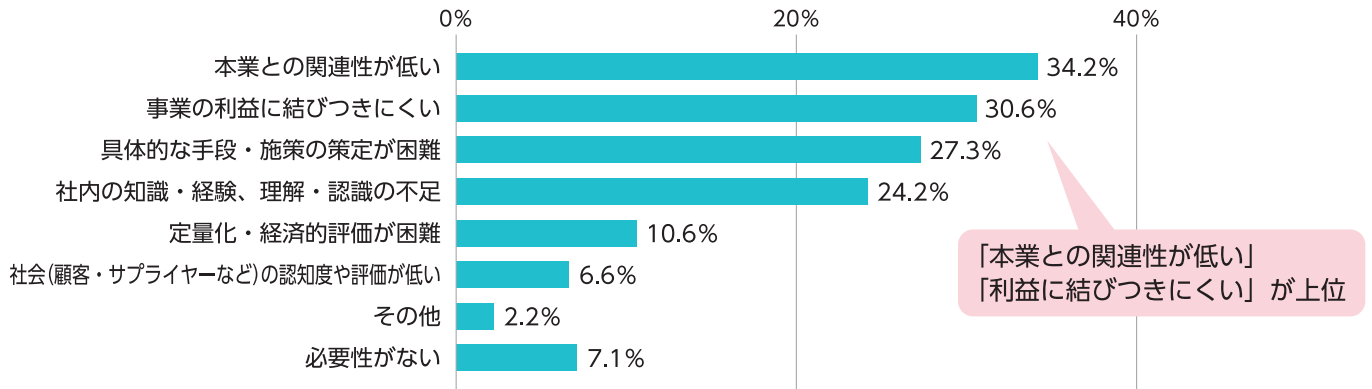
2. 経営方針・経営戦略などに環境への配慮や取り組み・目標の盛り込み状況



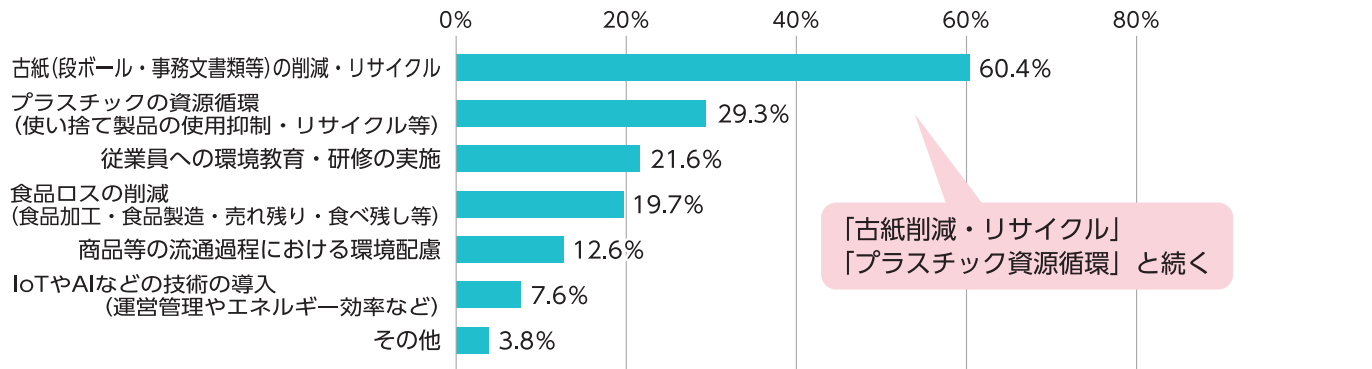
「はい」「検討中」を合わせると6割弱



3. 環境への配慮や取り組み・目標を設定する際の課題や理由(複数回答)

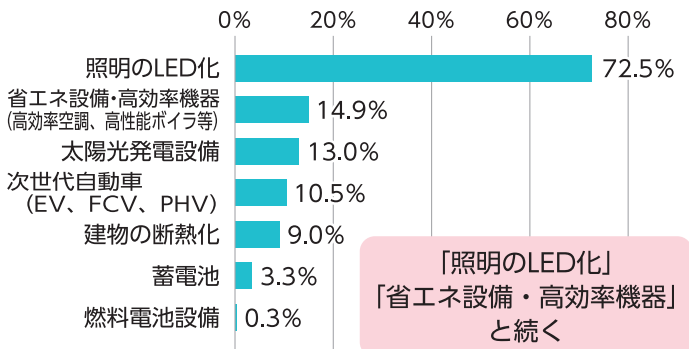


4. 環境への取り組み状況(複数回答)

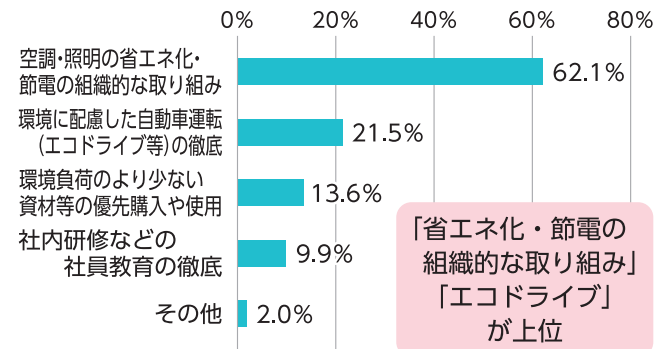


5. 脱炭素化につながる設備導入・利用状況

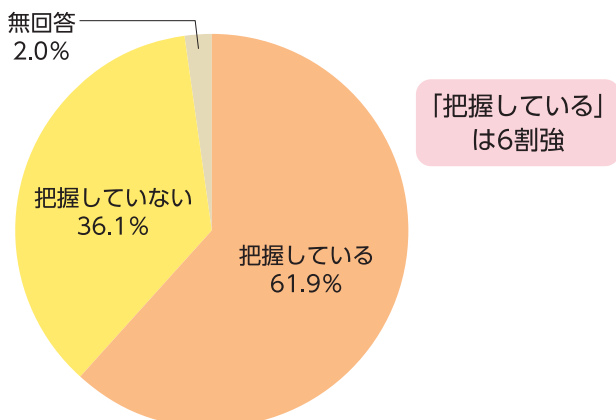
1 再エネ設備及び省エネ設備等に関すること(複数回答)



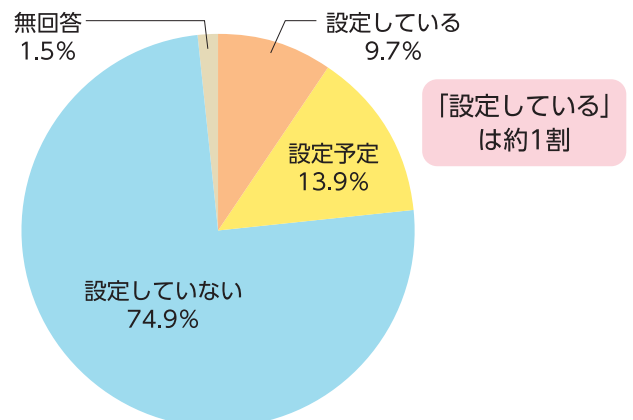
2 社内での行動(複数回答)



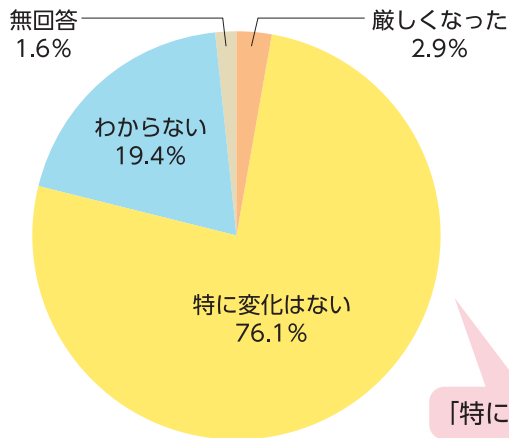
6. エネルギー使用量の把握状況



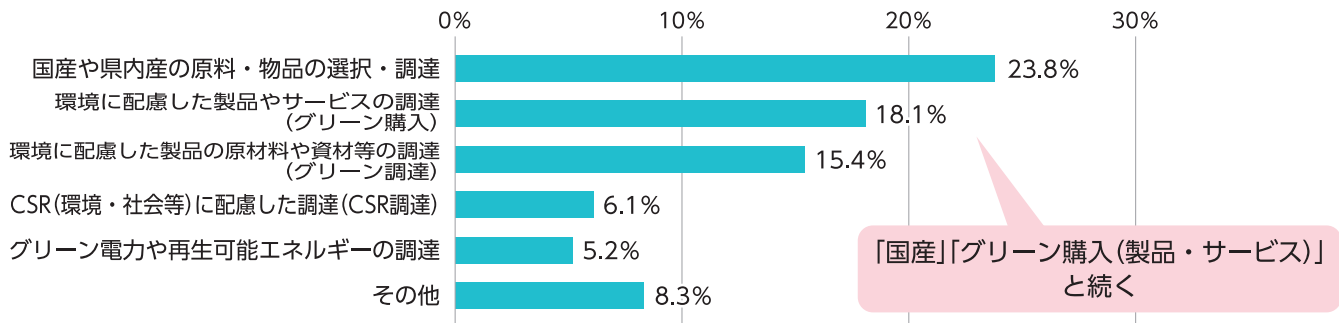
7. エネルギー使用量等の削減目標の設定状況



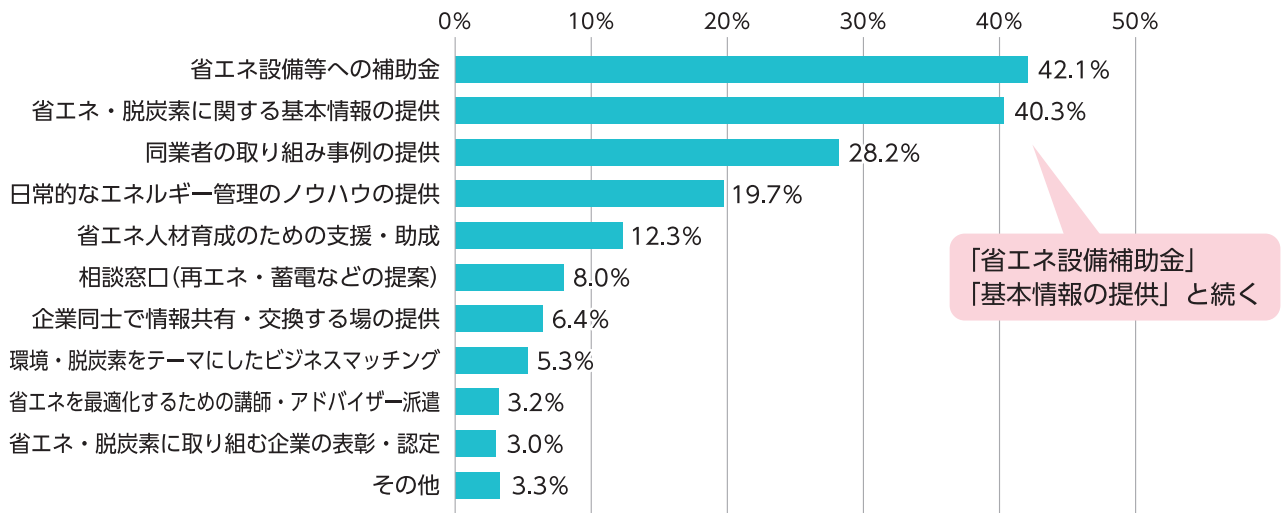
8. 顧客・取引先からの環境負荷の軽減に関する要請



9. 環境等に配慮した調達 (複数回答)



10. 脱炭素への取り組みに必要なと思われる支援 (複数回答)



ご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。
今後も引き続き、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

本調査結果の詳細はこちら



カーボンニュートラルって うちも取り組まないといけない理由って何なん?!

企業のみなさまへ カarbonニュートラル達成に向けた取組ステップ

STEP
0

しる! カーボンニュートラル とは何かを知らう!

エネこれ
(経済産業省)脱炭素ポータル
(環境省)中小規模事業者向けの
脱炭素経営導入ハンドブック
(環境省)

温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを意味します。地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて日本では「2050年までにCNを目指す」ことを宣言しています。大企業のみならず、全ての企業が、周囲の様々な関係者から、CNに向けた取組が強く求められています。特に大企業を中心に、取引先の排出量まで含めたCNを目指す企業が増加しているため、このまま何も取組を始めなければ、将来的に今の取引先から取り引きされなくなる可能性も出てきます。

STEP
1

はかる! 自社のCO₂排出量を 計算してみよう!

中小企業のみなさん!
自社のCO₂排出量を算定しませんか?
(経済産業省)二酸化炭素排出量算定ツール
(日本商工会議所)

計算例

電気使用量	<input type="text"/>	kWh/年 × 0.000441* tCO ₂ /kWh =	<input type="text"/>	tCO ₂ /年
都市ガス使用量	<input type="text"/>	Nm ³ /年 × 2.23 tCO ₂ /Nm ³ =	<input type="text"/>	tCO ₂ /年
灯油使用量	<input type="text"/>	kl/年 × 2.49 tCO ₂ /kl =	<input type="text"/>	tCO ₂ /年
重油(A重油)使用量	<input type="text"/>	kl/年 × 2.71 tCO ₂ /kl =	<input type="text"/>	tCO ₂ /年
ガソリン使用量	<input type="text"/>	kl/年 × 2.32 tCO ₂ /kl =	<input type="text"/>	tCO ₂ /年

※電気事業者別排出係数 特定排出者の温室効果ガス排出量算定用 令和3年度実績(R5.1公表)の“代替値”を使用。
電力の排出係数は、電源構成に基づき各電力会社により異なるため、より正確な数値を知りたい方は下記サイトでお確かめください。
電気事業者別排出係数一覧
<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc/denki>

・下線部は排出係数を示す。
その他自社で使われている燃料の排出係数が知りたい方は下記サイトでお確かめください。
算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧
https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/tiran_2020_rev.pdf

毎月のエネルギー使用量(燃料や電気)と、それぞれに設定された排出係数をかけ合わせることで、自社のCO₂排出量を計算することができます。

STEP
2

へらす! CO₂排出量の削減に努めよう!



省エネポータルサイト(経済産業省)



再エネスタート(環境省)

STEP1で得られた自社のCO₂排出状況を元に、どの部分にCO₂削減の余地があるかを検討し、CO₂削減効果の大きいものや、取り組みやすいことから優先的に実施します。

(例：高効率設備の導入、運用改善、再生可能エネルギーの活用、燃料転換・電化、J-クレジット制度 など)

STEP
3

つづける! 自社のカーボンニュートラルへ!

カーボンニュートラルの取組を自社の戦略や経営計画に位置づけることで、他社との差別化や自社のPRにつながります。

その他
施策情報

カーボンニュートラル関連・施策マップ
経済産業省のカーボンニュートラル関連施策について、「取組内容(省エネ診断や設備導入)」、「支援対象者」、「公募時期」などの情報をわかりやすく掲載しています。



脱炭素化事業支援情報サイト(エネ特ポータル)
環境省の地球温暖化対策に関する補助・委託事業を紹介しています。絞り込み検索や、キーワードを入力しての事業検索ができます。ぜひ一度お試しください。